



2011年5月24日

各 位

第一三共株式会社  
アストラゼネカ株式会社

癌骨転移による骨病変の治療薬 AMG 162 (デノスマブ) の日本における  
コ・プロモーション契約締結に関するお知らせ

第一三共株式会社（本社：東京都中央区、社長：中山 譲治、以下「第一三共」）とアストラゼネカ株式会社（本社：大阪府大阪市、会長兼社長：加藤 益弘）は、癌骨転移による骨病変の治療薬として国内製造販売承認申請を行っている AMG 162（一般名：デノスマブ（遺伝子組み換え）、以下「デノスマブ」）の両社によるコ・プロモーションについて契約を締結しましたのでお知らせします。

デノスマブは RANK リガンド（破骨細胞の形成・活性化に必須の蛋白質）を標的とする世界初の完全ヒト型モノクローナル抗体です。第一三共は、2007 年に本抗体を創製したアムジェン社から、日本国内での開発・販売権を取得しました。

以 上

本件に関するお問い合わせ先	
第一三共株式会社 コーポレートコミュニケーション部 報道関係者の皆様 TEL：03-6225-1126 株式市場関係者の皆様 TEL：03-6225-1125 HP： <a href="http://www.daiichisankyo.co.jp/">http://www.daiichisankyo.co.jp/</a>	アストラゼネカ株式会社 広報部 TEL：06-6453-8011 HP： <a href="http://www.astrazeneca.co.jp/">http://www.astrazeneca.co.jp/</a>